

令和7年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(調査名)	MB学年	単位数	教科書	使用教材
指導教員名	家庭	家庭総合	全	4	家庭総合 青い先生・新宿(東京都内)	家庭総合学習ノート・自立・共生・創造(東京書籍)・Life Design 資料・成分表HOT 2025[実教出版]
学年	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
		家庭科の学び方 生活に生きよう 家庭科の学び方	家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホー	生活を生徒的にするために必要な人の一生と家庭・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解していくとともに、それらの様なことを身に付けています。 生活を見直して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を発見し、解決策を検討し、実践を評議・改善し、考察したこと慣習に基づいて総括的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けています。 特定の人々と協働し、よりよい社会に向かって、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に貢献しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしています。	
	4月	第1章生活を選ぼう 第2章人生をつくる	1人生を基盤にする 2目標を持って生きる 3人生をつくる 4家族・家庭を見つめる 5これから家庭生活と社会		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の基礎と実践方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生息上の問題を設定し、解決方法を考え、計画立てて実践しようとする。	
前期	5月	第3章子どもと共に育つ 第4章経済的・社会と共に生きる	1命を育む 2子どもの育つ力を見る 3子どもと関わる 4子どもの触れ合いから学ぶ 5これからのお世帯構成 1経済・大変長寿社会の到来 2高齢社会の心の特徴 3高齢者の自立を支える 4これから経済的・社会		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する態度について理解する。 ・子どもの育つ力に応じて適切に離れて育めるようになるために、子どもが生まれつき持っている体力や心身の先端について理解する。 ・子どもが個性・快適・安全に育つ環境を整えるようになるために、子どもの生産習慣や飲食生活について理解する。 ・子どもが家庭や地域のよりよい生活を創造できるなどの必要な性質と実現されないか、考えて実践しようとする。	
	6月	第5章共に生きて、共に支える	1私たちの生活と福祉 2社会保護の考え方 3共に生きる		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・経済的・社会的状況の変遷を理解する。 ・高齢者が生きながらえて育てるためには、家庭や地域によるとどのような実績が必要か、考える。 ・加齢による体の変化や高齢者の生き方や高齢者について理解を深めよう。 ・高齢期の考え方や社会との仕事や距離について考えよう。	
	7月	第6章食生活をつくる	1食生活の問題について考える 2食事と栄養・食品 3食品の選択と安全 4生徒の問題を見直した食事計画 5被服の基礎 6食生活の文化と知恵 7これからのお生活		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・よりよい食習慣を身に付ける、生涯を健康に過ごすために、食生活の問題や食事の変遷、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・自分がや家庭や地域のよりよい生活を創造するためには、食事の種類や量、食生活と子どもの成長や飲食などについて理解する。 ・自分がや家庭や地域のよりよい生活を創造するためには、食事の種類や量、食生活と子どもの成長や飲食などについて理解する。 ・これからの高齢社会の問題を理解する。 ・部分言葉の高齢化によりよく使われるようになるとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。	
	8月				家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・自分が生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて技術を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家庭・家庭生活を支える福祉について理解する。	
	9月				家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・自己が生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて技術を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家庭・家庭生活を支える福祉について理解する。	
	10月	第7章 衣生活をつくる	1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する 4被服を作る 5被服の基礎 6被服の文化と知恵 7これからのお生活		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・私たちが被服を活用するに至った、社会的・文化的背景や被服の多様性や被服について理解する。 ・用途に合った最善の被服を育む力を身に付けるために、社会生活を豊かにするうでの被服の役割を理解する。	
後期	11月	第8章 住生活をつくる	1住生活の企画と住居の価値 2安全で快適な住生活の計画 3住生活の文化と知恵 4これからのお生活		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・被服の被服を長期にわたり活用することができるよう、整理や手入れの工夫について理解する。 ・被服に配慮した衣生活において、着用できる力を身に付けるために、被服の料や性質、加工について科学的に理解する。	
	12月	第9章 経済生活を中心とする	1預貯の収集・比較と意思決定 2預入・支払いのルールと方法 3消費者の権利と責任 4生活の経済生活を見出す 5計算をマネジメントする 6これから経済生活		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・被服の被服に付けることができるよう、貯金や預入の工夫について理解する。 ・被服に配慮した衣生活において、着用できる力を身に付けるために、被服の料や性質、加工について科学的に理解する。	
	1月	第10章持続可能な生活を築む	1持続可能な社会を目指して 2一人一人の力で社会を担かず		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・被服の被服を活用するに至った、社会的・文化的背景や被服の多様性や被服について理解する。 ・被服に配慮した衣生活において、着用できる力を身に付けるために、被服の料や性質、加工について科学的に理解する。	
	2月	第11章これからの生活を創造する	1生活をデザインする		家庭科の学び方 ムプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホー ・人生の目標を達成する、自分らしい生活が実現できるよう、高齢者や高齢者について理解する。 ・これから持続可能な社会を実現していくために、何ができるか考えて実践しようとする。	